



2月17日放映のテレビ東京系列「知られざるガリバー」シリーズエクセレント・カンパニー「アイル」で川岸工業が紹介された。番組では、超高層ビルを支える鉄骨柱の製作にスポットを当て、川岸工業の主力工場である千葉第一工場（Sグレード）を紹介。特に4面ボ

## テレビ東京「知られざるガリバー」 川岸工業を紹介

ックス柱のサブマージアーク溶接やエレクトロスラグ溶接の施工技術のほか、同社の徹底した寸法精度の管理などを紹介した。また、柱を立て足場を移動、下向きの姿勢で溶接作業が可能な「溶接タワー」の工法のほか、現寸大の模型製作など技術と品質への同社のこだわりとメーカーとしての使命を取り上げた。

一方、1906年の創業や1962年の東京本社移転後に東京都庁第一本庁舎など数多くの超高層物件を手掛けてきた同社の歩みを紹介。近年の東京スカイツリーや麻布台ヒルズ森JPタワーなどわが国を代表する巨大プロジェクトへの参画にも触れた。

金本秀雄会長は、こうした数々の実績に関して「超高層のボックスを優先的に製造する設備を有しており、われわれの技術と信頼性で勝ち得たものと考えている」と述べた。また、熟練者の指導による若手従業員の教育や資格試験のため練習の場として設けた工場内の溶接試験場も取り上げ、熟練工の匠の技と最新技術を若手従業員に伝承する同社の姿勢を伝えた。

金本会長は番組の最後に「人財育成がまず何よりも優先すべき。あらゆる設計図書を読み取り、鉄骨製造に係わるプロジェクトマネジャー的な人財育成に努力していきたい。これから先、100年先までも建築の鉄骨でトップを走っていきたい」と意欲を示した。

【写真】自社の方針について述べる金本会長